

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- ①3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ②3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④提案書、添付資料を審査員以外に配布する際は白黒コピーとなります。

整備提案名 (25字以内)	フリガナ カンナイノコウカイクウチヲビジネスガイノポケットオアシスニ！ 関内の公開空地をビジネス街のポケットオアシスに！
提案グループ名 (25字以内)	フリガナ カナイアイヌカバ シキミチヨウテンガ 侍ヨウドウミアイカンナチユウカシコウカイ 関内を愛する会 馬車道商店街協同組合 関内中央振興会 ※申込者と異なる場合は記入してください。
グループの現在の 主な活動内容及び 最近5年以内の活 動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関内桜まつり・関内まつり・馬車道まつり・収穫祭 ・ヨコハマ大道芸 in 馬車道 ・関内エリアマネージメント研究会・北仲北地区再開発連絡会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	中区 桜通・太田町・弁天通2丁目 ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。
整備提案の内容 (どのような整備を 提案するのか文章で 記入してください)	<p>横浜メディアビジネスセンター（YMBC）に面する公開空地に明治20年横浜に初めて公共水道がひかれた時の「獅子頭公共栓」を設置し、周辺にベンチとシドモア桜のお休み処を整備、ビジネス街の“ポケットオアシス”とする。</p> <p>これをモデルとして、市庁舎が分庁舎となったときの経路に、点在させる。</p> <p style="text-align: right;"><u>整備費用の概算額：約 500 万円</u></p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p>
整備提案の動機や 背景 (整備に対する地域 のニーズや整備によ って解決したい地域 の課題、整備の必要 性などに触れながら 箇条書きで記入して ください)	<ul style="list-style-type: none"> ・公開空地に潤いを与え、地域や来街の老若男女・子供たちのいこいの場として広く活用します。 ・まちのイベント（桜まつり等）の拠点として活用します。 ・馬車道周辺はナショナルアートパーク構想の中でも“馬車道創造界隈”として位置付けられています。 ・開国之地、横浜発祥の地である関内のシンボルツリーとしてシドモア桜並木を新港埠頭周辺に広める、中長期計画の“呼び水的事業”として位置付け、賑わいを創出します。 ・開港150周年記念事業の一環として対応し、広く開港五都市の街づくりへの波及を呼びかけます。 ・開港五都市とは江戸時代から明治時代にかけて日本が開国した時の“長崎”“神戸”“横浜”“新潟”“函館”の5都市をいい、1993年神戸において第1回“開港五都市景観会議”が開かれ、その後ほぼ毎年持ち回りで開催されております。

整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか？)	<ul style="list-style-type: none"> ・馬車道および桜木町からの来街者の誘導をはかり、地盤沈下の進む閑内中央部の桜通り（八重桜並木）と呼応して賑わいと活性化に寄与できると思います。 ・閑内はマンションが林立し、定住人口が増えていて、新しい住人に開港拠点の歴史と文化を伝え、国際交流に貢献したシドモア桜の言われも子供たちに教え、将来の閑内に夢を持たせます。 ・海側からの景観として、入港時の船舶を桜で出迎えます。 ・再開発の進む北仲北地区および市庁舎移転にからむ北中南地区と閑内中心部との棧として、来街者の回遊性を促進します。
整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか？)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体・町内会が行政とも連携を保ちながら汗を流すことのコンセンサスは充分です。 ・シドモア桜の会、閑内桜まつり等の関係するイベント間の連携もあります。
○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 <small>注4)</small> ○その他提案について特にPRしたい点	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜にゆかりのあるシドモア桜の並木を開港の地に開花させ、国際交流のモデル地域とする。 ・公共水道発祥の地であるシンボルとして＜獅子頭公共栓＞は、水道の歴史を語る。 ・地域の団体：閑内を愛する会（人）・馬車道商店街協同組合（人、金）および町内会（人）からの協力。 ・シドモア桜の会および日本都市計画家協会横浜支部の協力。 ・地域の道路管理を担う中土木事務所の協力。 ・地域の在住・在勤の人々による管理運営。 ・植樹の際は地元関係者の参加。

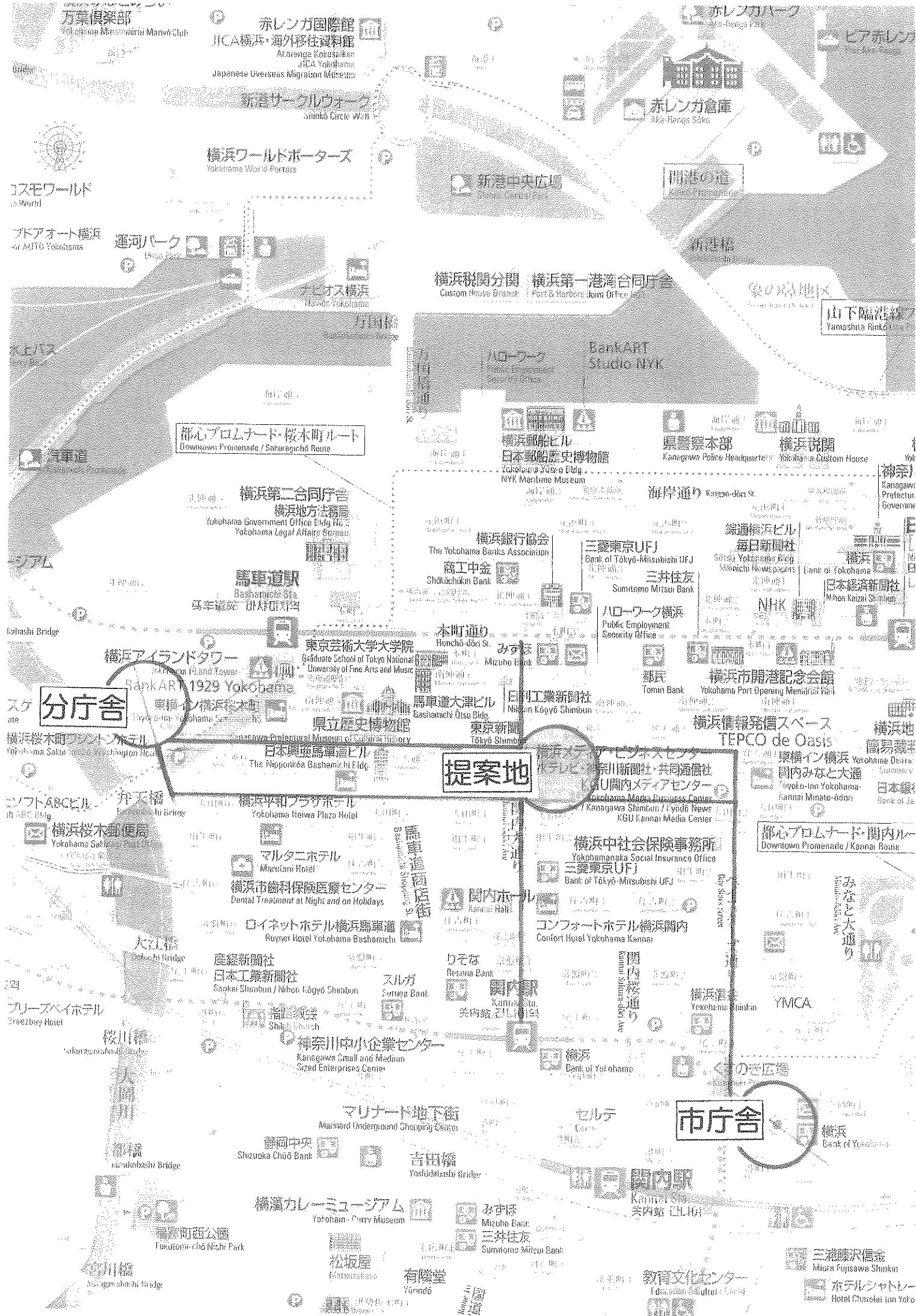
注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

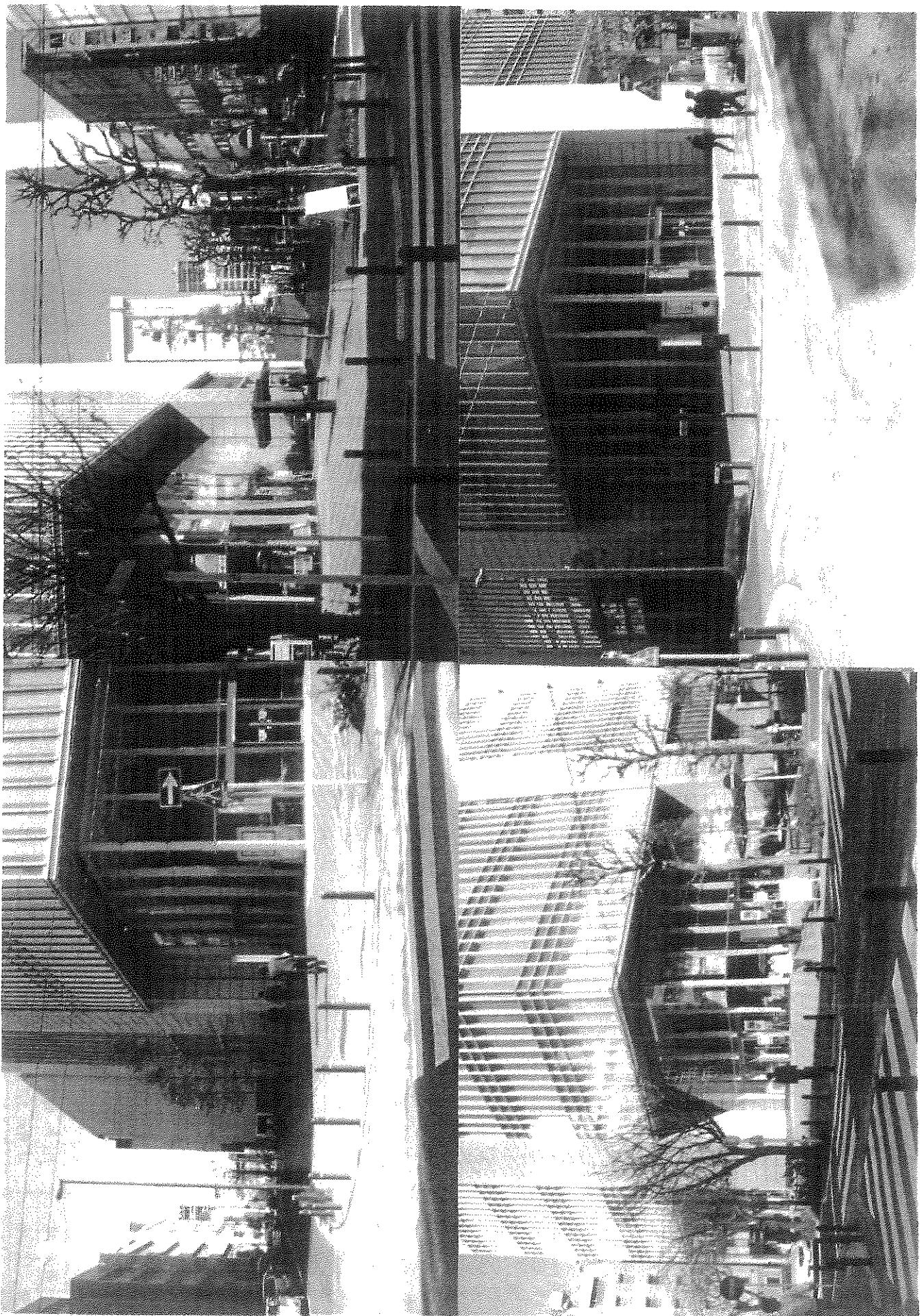
- 「ヒト」の例
 - ・地域のPTAから協力を受けられそう。
 - ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例
 - ・整備に必要な材料を安く入手できそう。
 - ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例
 - ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。
 - ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等 <small>注5)</small> への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
横浜企業経営支援財団	提案することについての了承。
神奈川新聞社	
テレビ神奈川	
関東学院大学	

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

- 記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。
- ✓ 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
 - ✓ 記載内容に個人情報は含まれていません。





提案公開空地



